

- はじめに
- ふりかえり：事業概要とこれまで
- ダムパークいばきたコミュニティについて
- 日常活動について
- ワーク①：『ダムパークいばきた』の活動について
- ダムパークいばきたフェスティバルについて
- ワーク②：フェスを通しての目標

ダムパークいばきたがオープンしてから初めての全体会議を開催しました。この会議では、ダムパークいばきたの活性化を目的に活動する団体や事業者等が、それぞれの活動について発表を行い、情報共有を図っています。今回は初めて参加する方もいらっしゃるの、安威川ダム周辺整備事業概要や、これまでの経緯について説明を行いました。6月に発足した“ダムパークいばきたコミュニティ”からは、団体の説明と6月1日行ったキックオフミーティングについての報告がありました。また、公園で実施されている日常活動プログラムの現在の状況についても報告しました。そして、10月には「ダムパークいばきたフェスティバル」を実施予定となっており、その概要について説明した後、各事業者からはフェスでの関わり方について発表がありました。



【事業概要】

“エリアマネジメントⅠ”はダムパークいばきた対象とし、地域で活動する個人、団体、企業等の支援を行いながら協働連携して地域活性化を図っていきます。

エリアマネジメントⅡでは、活発かつ効果的なエリアマネジメント活動を発展的につなげ、北部地域全体について、観光や学び等の場としての価値を高めていき、地域活性化につなげていくことを目指しています。

下図は安威川ダム周辺整備のスケジュールと、「ダムパークいばきた」の第Ⅱ期開園予定の範囲です。令和6年12月には駐車場が全面と、吊り橋がオープン予定となっていますので、更に賑わいが創出されると期待しています。

ダムパークいばきた及び北部地域（いばきた）におけるエリアマネジメントについて

エリアマネジメント組織Ⅰ
・公募事業者により組成。
・事業内容調整、対外窓口の一本化等、事業の効果的・効率的運営を図る組織。
・都市公園等の管理運営、周辺のプロモーション・まちづくりの活動を実施。
・本市が組織の活動を監督。

エリアマネジメント組織Ⅱ
・本事業を基盤として、北部地域の活性化の促進を図る組織。
・各団体・民間事業者等の活動情報の共有や事業連携等を実施する想定。
・ダム周辺との連携が確実に実施されるよう、エリアマネジメント組織Ⅰが事務局を担当。

ダムパークいばきた内の体制

指定管理者（大和リース）
○公園の管理・運営
○エリアマネジメントへの協力

エリアマネジメント事務局（E-DESIGN）
○エリアマネジメントのコーディネート
○活動団体の支援
※スタッフ1名がダムパークいばきたに週3日程度常駐

民間施設所有者（Gravity Park Holdings）
○施設の管理・運営
○収益の一部還元
運営費提供

協力者
フェス参加プログラム者
●●の係
メンバー
委員会

ダムパークいばきたコミュニティの体制図

会長
副会長
会計
総務
特別プロジェクトチーム（フェスの魚のチーム）
マシジキ
体験
運営
活動委員会
プロモーション委員会
？

令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度

10～12月 1～3月 4～6月 7～9月 10～12月 1～3月 4～6月 7～9月 10～12月 1～3月 4～6月 7～9月 10～12月 1～3月

●ダム事業（府）

安威川ダム建設工事 → 安威川ダム関連工事 → 安威川ダム供用開始

●公園整備事業

公園づくりWS → 準備調査・社会実験活動 → エリアマネジメントや活動規則の準備

●公共施設基本設計 → 公共施設実施設計 → 一期 公共施設整備 → 二期 公共施設整備 → 施設オープン

●民間施設設計 → 民間施設整備（吊り橋エリア）

●ダム直下広場

広場設計（府） → 整備工事（府） → 開園準備・公園供用開始

●多目的運動広場

基本設計及び実施設計 → 整備工事 → 整備中

●上流広場

基本設計及び実施設計 → 整備工事 → 施設社会実験運用開始

●権内広場

基本設計及び実施設計 → 整備工事 → 試行的活用開始予定

Ⅱ期開園時期 【令和6年12月開園予定】

交流拠点施設
・公園管理所
・多目的室A(8.5m×8.5m)
・多目的室B(4.5m×4.5m)
・ホール

生保半島さくら広場
・直径100mの芝生広場
・屋根付きステージ(8m×4.5m)

イベント広場・拠点前スペース
・広場(64.5m×20m)
・拠点前(テント設置分)

駐車場
普通車300台
大型バス30台

吊り橋（民間）パークカフェ

【これまで（2013年からの組織の成り立ち）】

ダムパークいばきたや安威川ダムが出来前から、地域活性化の取組を検討してきました。これまでの取組み内容をまとめたものが右図となっています。

最初は「安威川ダムファンづくり会」（大阪府）を立ち上げ、チームを構成して安威川フェスを実施しました。また、安威川ダムとその周辺情報を発信する「安威川ニュース（タブロイド版）」とWEBを制作し、その後、取り組みを引き継ぎ、公園の使いこなしなどのワークショップを重ねていき、整備前の公園で令和4年12月に社会実験「だむチャレ!」、令和5年5月には「ダムパークいばきたフェスティバル」を実施しました。

安威川ダムファンづくり会（大阪府）から

2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

ファンづくり会のコンセプト

安威川ダムを愛する人々の集まり、その活動を通じて、安威川ダムをより身近なものにする。

ファンづくり会のメンバー

代表者：[名前]、副代表者：[名前]、幹事：[名前]、会計：[名前]、広報：[名前]、企画：[名前]、運営：[名前]

安威川ニュース

安威川ダムの最新情報、イベント案内、地域活性化の取組などを伝えるタブロイド版の新聞。

エリアマネジメントの考え方

エリアマネジメントとは、地域資源を活用し、地域住民の生活向上を図るための取り組みである。

「ダムパークいばきた」のエリアマネジメント

ダムパークいばきたは、エリアマネジメントの理念に基づき、地域住民の生活向上を図るための取り組みである。

だむチャレ！ (2022.12)

安威川ダム周辺で行われた社会実験イベント。多くの市民が参加し、ダム周辺の魅力を体感した。

ダムパークいばきたフェスティバル (2023.5)

ダムパークいばきたで開催されたフェスティバル。多くの市民が参加し、ダム周辺の魅力を体感した。

項目	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
会員数	100名	200名	300名	400名	500名	600名	700名	800名	900名	1000名	1100名	1200名
発行部数	100部	200部	300部	400部	500部	600部	700部	800部	900部	1000部	1100部	1200部
イベント開催回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回
参加人数	100人	200人	300人	400人	500人	600人	700人	800人	900人	1000人	1100人	1200人

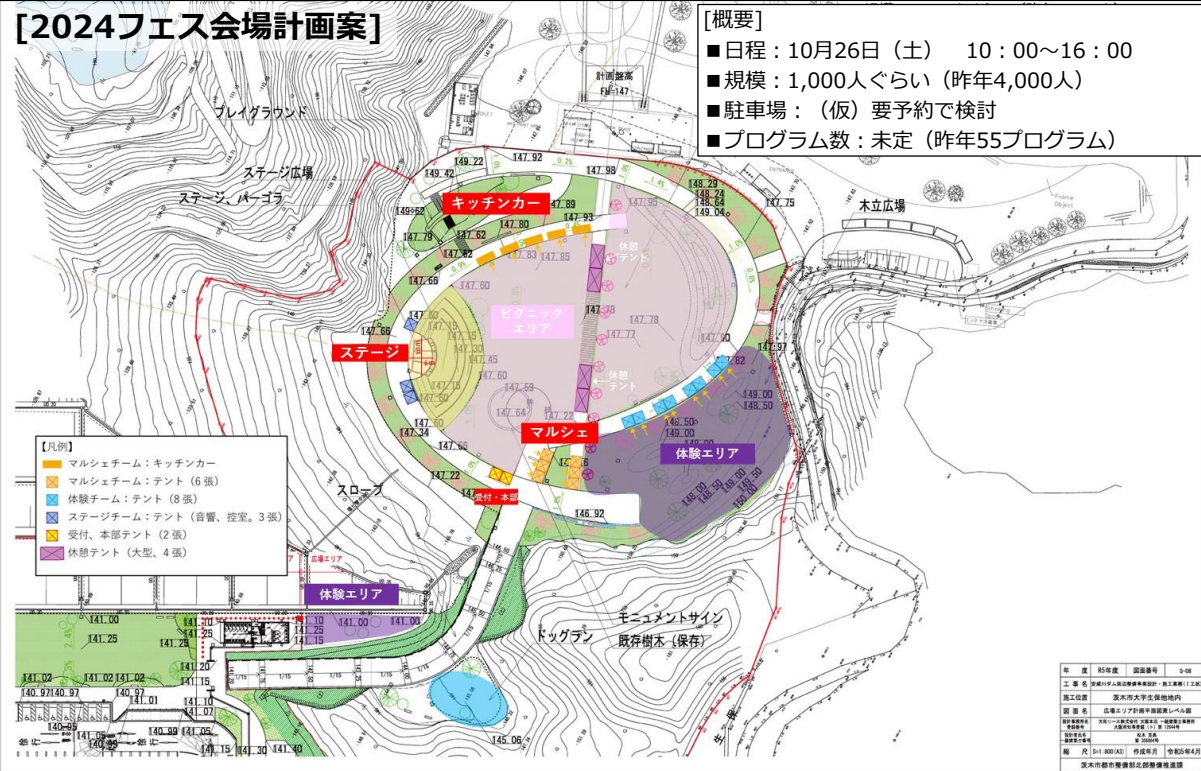
ダムパークいばきたコミュニティについて

「ダムパークいばきた」を中心に安威川ダム周辺や、いばきたを盛り上げたい方で結成された「山とまちをつなぐ ダムパークいばきたコミュニティ」が6月1日に発足しました。同日、ダムパークいばきたにて「ダムパークいばきたコミュニティ〜キックオフミーティング（総会）〜」が開催され、現在30名近い会員の皆さんが集まり活動を始めています。引き続き会員を募集中です。



ダムパークいばきたフェスティバルについて

10月開催「ダムパークいばきたフェスティバル」の概要について説明を行い、ダムパークいばきたコミュニティの各チームから実施するプログラムの内容について、関係する事業者からフェスへの関わり方について説明して頂きました。



ワーク①：「ダムパークいばきた」の日常活動の課題について

5月からスタートした、ダムパークいばきたコミュニティの皆さんによる来園者への「おもてなし」「日常活動」の報告があり、日常活動の課題について、皆さんで話し合っていました。

あつたら良いな	■プログラム ・山と人の地元プログラム ・地元の人の野菜販売 ・ダムパークいばきたで木のドミノ ・交流イベント ・地産地消マルシェ ・野菜などマルシェを気軽にさせたら ・キッチンカーを定期的に出してほしい ・夏休みの課題（子ども向け） ・プログラミングWS、家族で楽しむ ・子どもだけでなく大人も楽しめるイベントがほしい ・フラワーアート	・夏祭り企画（ヨーヨー、金魚すくい、太鼓、おどり） ・夏休み時期のイベント(ステージ、マルシェ) ・大型のプログラムがあっても良い ・食事、雨の市	■その他 ・昼間時間にコミュニティバスを動かす（真面の滝） ・山とまちをつなぐダムパークいばきたロゴ作り ・子どもが笑顔になれるダムパークいばきたのゆるキャラ。ゆるキャラでグッズ制作 ・ダムカードの説明
	■実施にあたって ・施設備品、設備機器の柔軟な対応 ・ステージ機材 ・テント、イス、テーブル、備品について ・申請期間のめ切が早い ・芝生上でのプログラム制限がある ・キャンセル料が高い ・天気に左右される ・天候に影響あり ・雨の日雨宿りできない ・影がない ・熱中症対策	・風が強くイベントの難しさを感じた ・同業者ががち合った場合の対応 ・出店支援	■交通 ・アクセス（右折のみ） ・臨時バスを！ ・交通手段 ・交通を便利にしてほしい ・市役所、ＪＲ、阪急をつなぐバスがあると良い
課題		■周知 ・平日の集客 ・イベントが少ない（周知） ・集客（インスタP R、HP、チラシ） ・情報、周知の工夫 ・情報の発信力、やっているが知らない ・雨天時のプログラム開催中止の情報、延期開催の有無	■その他 ・雨の日に集客できる何かがほしい ・ダムパークに来たから、水を感じたい

ワーク②：フェスを通しての目標

「ダムパークいばきたフェスティバル」での、ダムパークいばきたコミュニティ(◆)と個人(◇)の各目標を設定してもらいました。

プログラム	周知	サービスの充実
◆ 次世代（子ども）に楽しい思い出を残したい ◆ 将来に繋がるきっかけ作り ◆ 吊り橋ライトアップ ◆ 子どもの広場を作る（折り紙、ぬりえ、本等） ◆ 猫カフェ ◆ のど自慢 ◆ 顔出しパネル ◆ ダムパークいばきたで、2,000匹の鯉のぼりを掲示 ◆ オリジナル焼き印のスタンプ作成 ◆ 学校では学べない体験作り ◆ 自然を感じる ◆ 他府県より集客力のあるイベントにしたい ◆ 地元企業とのコラボ ◇ 2000人で楽しめる鯉のぼりの掲示 ◇ 堤体登山の実現 ◇ 野外ステージで夜景コンサート ◇ ダムフェスに出演する ◇ オリジナル商品の制作 ◇ 10月限定商品の販売（ハロウィン） ◇ 自然を体で感じる ◇ ダムで学ぼう（小学生向けダムや地域の歴史の学習） ◇ ダム湖を巡る（ハイキングコース） ◇ ダムスクール開校（小学5,6年生、高校生） ◇ ドローンスクールを開きたい ◇ ドローンの安心安全の周知や社会実験をやりたい ◇ 地元木材でベンチを作成し設置したい	◆ イオンモールで常時、会員を募集 ◆ 茨木市以外コア会員を増やしたい ◆ いばきたの良さを多くの方に知ってもらう ◆ コミュニティ参加者を増やす ◆ ダムパークいばきたを知ってもらう ◆ 有名人の来園してもらう ◆ コミュニティコア会員を1万人以上にしたい ◆ 大人も子どもも「また来たい」と言ってもらえる ◆ ダムパークいばきたの周知 ◆ 写真展の開催(SNSをしていない方向け) ◆ 緑の豊かさ ◆ コミュニティに興味をもってもらう ◆ 日常プログラムの宣伝 ◆ 茨木市の魅力をPR ◆ 日常プログラムが人気になる ◇ キャラクターに来園してもらう ◇ 安威川ダムを知ってもらう ◇ ダム湖上空ドローン撮影 ◇ いばきたの地域課題を知ってもらう（里山、高齢） ◇ 茨木の良さを知ってもらう ◇ ダムパークの魅力を1人でも多く、県外の友達をよぶ	◆ 地域に愛着を感じてもらう ◆ ダムパークいばきたを身近に感じてもらう ◆ 昨年のフェス以上に満足してもらう ◆ わくわく、どきどきを提供したい ◆ 自然をゆっくり満喫してほしい ◆ ウェルビーイングな公園の実現 ◆ ダムフェスを毎年開催する ◆ フェスを年を2回開催 ◆ ひとりひとりの満足度を上げ口コミで広がる ◆ みんなが心地よいフェス ◆ ダムパークへ再度来園したくなるようなイベント作り ◇ ダムパークの自然を感じるブース作りやサービス ◇ ダムカードの活用（飲食店だけでなく他業種への展開） ◇ 運営チームとしてフェスを盛り上げる ◇ 茨木市民の皆さんの健康つながり ◆ 世代を問わない共創コミュニティを作る ◆ 人と人とのつながり ◆ 人との出会い ◆ 地域コミュニティの拡充 ◆ まちと山の距離を埋める ◆ 会員が増え委員会が活発になる ◇ 人と人とのつながり ◇ 多世代、多地域のボーダレス化
地域資源		
◆ 茨木市資源をフル活用する ◇ いばきた産SDGSの実現 ◇ 地産地消 ◇ いばきた資源の活用（間伐材） ◇ いばきたのSDGS		
その他		
◆ フェス情報の収集 ◆ フェスの基礎作り		

全体会議 開催日	【第2回】 2024年8月24日（土）14:00～16:00 @ダムパークいばきた多目的室A	【第3回】 2024年10月10日（木）18:30～20:30 @ダムパークいばきた多目的室A	【第4回】 2025年1月25日（土）14:00～16:00 @ダムパークいばきた多目的室A
-------------	--	---	--